

三島王、後に松浦佐用姫の歌に追和する歌

一首

八八三番

音おとに聞きき 目めにはいまだ見みず 佐用さよひめ姫ひめが 領巾ひれふ振ふ
りきとふ 君松浦山きみまつらやま

おほどものきみくまごり
大伴君熊凝の歌二首

八八四番

国遠くにとほき 道みちの長手ながてを おほほしく 今日けふや過すぎな
む 言問こととひもなく

八八五番

朝露あさつゆの 消けやすき我が身み 他国ひとくにに 過すぎかてぬか
も 親おやの目めを欲ほり